

AutoExe

スポーツクラッチライン

取付・取扱説明書

登録No.	
部品番号	MDJ6500
車名 車種	デミオ・MAZDA2 / C X-3
型式(グレード)	[デミオ] DJ5FS/DJ3FS/DJLFS [CX-3] DK5FW/DK5AW/DKEFW/DK8FW/DK8AW
備考	純正ゴムホース部分交換
取付上の注意	当マニュアルに従って、正しく取り付けて下さい。

～ お客様へ ～

- ※ 取付作業を始める前に必ず取扱説明書を最後までお読み下さい。
- ※ 取付は認証工場などで行い定期的に有資格者による点検を受けて下さい。
- ※ 本書は製品保証書とともに、製品装着後も大切に保管して下さい。
- ※ 本製品は各車種ごとの専用設計となっております。上記適合車種以外への取付けや加工は絶対に行わないで下さい。

構成部品

No.	部品名称	仕様	数量
①	スポーツクラッチライン	ステンレスメッシュPTFE製	1

取付け前に、破損・欠品などがないか確認してください。

取付ける前に

- ・長さ・形状・取付け方法が、純正クラッチホースとは異なりますので、本書に従って正しく取付けしてください。
- ・本製品は量産車を基準にデータ取りを行い製品開発を行っております。下記の項目に該当する場合には取付けできない可能性があります。
 - エアクリーナーなど周辺部品が量産品ではない場合。
 - マスターシリンダーやレリーズシリンダーなどが量産品ではない場合。
 - タワーバーなど当社以外の後付け部品が取付けされている場合。

取付け上の注意

- ・フレアパイプの先端部が図1のように変形している場合には、図2のように正常な状態に修正、または新品に交換してください。この作業を怠ると、フルード漏れやフレアナット破損の原因となります。

図1 変形

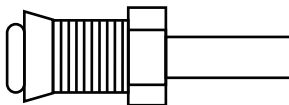
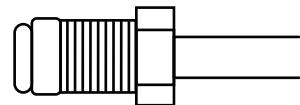



図2 正常





- ・エア抜き作業の手順は、マツダ(株)発行の整備書に従って正しく行ってください。
- ・エア抜き作業終了後クラッチペダルを踏み込んで、オイル漏れがないことを確認してください。
- ・すべての作業が終了したら、クラッチが正常に作動することを確認してください。

取付要領

1. 純正クラッチホースを固定しているクイックコネクタ部のクリップを取外し、コネクタを切離します。次にフレアナットを緩めて切離し、車両からクラッチホースを取外します。

 フレアナットが固く外れない場合は、レリーズシリンダーの配管ごと取外し、バイス等で固定して作業する事をお勧めいたします。

 取外したクリップは再使用いたしますので、洗浄の上、大切に保管して下さい。

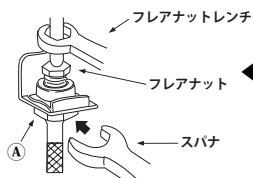
 クラッチ・フルードには塗料を溶かす特性があります。クラッチ・フルードが塗装面に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、完全に拭き取ってください。

2. クラッチライン先端のシールリングに少量のクラッチ・フルードを塗布します。

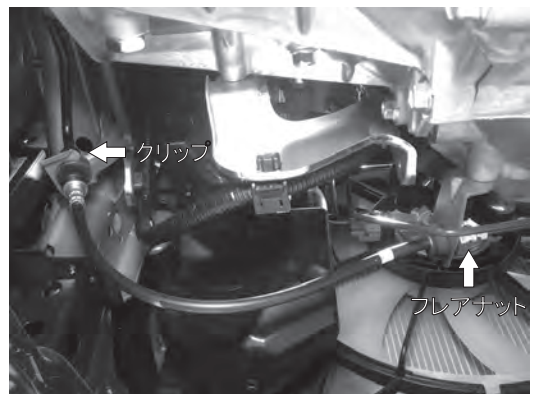
3. 1.で取外したクリップをクイックコネクタ部に還元した後、①クラッチラインをカチッと音がるまで真っ直ぐ挿入します。

4. フレアナットを接続し、規定トルクで本締めします。

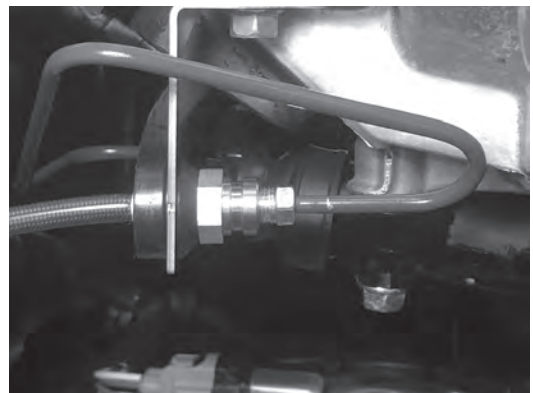
締付トルク: 13~21N・m



◀左図のようにフレアナットは、必ずフレアナットレンチ(専用工具)を使用しアダプター①を固定しながら締め付けて下さい。



5. 右図を参考に、純正ホースと同様の方法で、ゴムブッシュをブラケットに固定します。



6. クラッチシステムのエア抜きを行います。

7. エア抜き作業完了後、クラッチが正常に作動することを確認し、作業完了です。



規定トルクでフレアナットを締め付けてもオイルにじみ・漏れ等が発生する場合にはフレアパイプ先端部分の変形が考えられます。

正常にシールするように、フレアナットの増し締め又はフレアパイプの修正、交換を行って下さい。

装着後の取扱いについて

■ 日常点検について

法律で定められている日常点検整備を励行してください。

- ・クラッチペダルの踏み代
- ・クラッチの切れ、つながり
- ・リザーバータンクの液量

■ 推奨交換時期

5年ごとの交換を推奨いたします。但し、点検時に異常を発見した場合には速やかに交換してください。

■ メンテナンス

クラッチフルードの量、汚れ、漏れ等を定期的に点検してください。
クラッチフルードの推奨交換時期は2年毎です。(DOT5を除く。)
凍結防止剤が散布された場所を走行した場合は、必ず洗浄をしてください。

お願い

- 本製品は使用期間に応じて劣化する消耗部品です。日常点検を行い、フルード漏れや取付け部の緩み、銅ワッシャーの劣化や損傷が発生した場合には、そのまま走行せず新品と交換してください。
- 一般の条件下において使用した場合の経年劣化による外傷、機能上のクレームについては応じかねますので、あらかじめご了承ください。
- レース・ラリー等競技に使用した場合は、取付け上の不備、日常点検を怠り発生した破損事故等については当社は一切の責任を負いません。

ご不明な点等ございましたら下記までお問い合わせください。

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261